

STE (Shiroi Teaching Expert) の授業紹介 No. 4



白井市立大山口中学校 後藤 幸枝 先生 (総合的な学習の時間)

11月5日(金)、1年生の総合的な学習の時間、キャリア教育についての授業でした。「将来職業に就くために、今やるべきことは何か考えよう。～AIやロボットに負けない力を身につけよう。～」という学習課題で、これからの職業について考え、自分が身につける力は何かを考える授業でした。この授業は、後藤先生が以前に全国の教職員研究発表会で発表されたものです。新井紀子さんの著書『AI vs 教科書が読めない子どもたち』に刺激を受けて考えた授業だそうです。AIと共存していくこれからの子供たちの未来の幸せを願う、後藤先生の思いが込められた授業でした。

工夫1 黒板の使い方の工夫(スクリーンの着脱)

初めはスクリーンを使って資料を提示しながら、問題提起をしていました。ペッパー君、AIとの将棋の対戦、自動運転の車。一つ一つの資料に子供たちは良く反応し、本時の課題に自然に入っていました。本時の課題は、様々な職業を「人が行う」「AIがとってかわる」の2つに分類し、これからの自分について考えていくというものです。後半は、スクリーンを取って、職業カードを分類し、そこから分かることをまとめていきました。



工夫2 課題が明確な活動と考える基となる資料の提示

職業カードを分類していくという分かりやすい活動で、皆集中して話し合いに取り組んでいました。前時に自分たちで様々な職業について調べ、その職業に必要な力を一覧表にまとめていました。分類に迷ったらその資料に戻り、考える姿もありました。「映画監督は人間の感性が必要だろう。」「看護師は人のぬくもりを感じるから、AIだけではだめだね。」「タクシー運転手はAIかな。」「理学療法士って何だっけ。」前のめりになったり、立ち上がって確認したりと主体的な姿がたくさん見られました。先生は一つ一つのグループを回り、共感したり助言したりしていました。



工夫3 生徒たちの主体的な姿(「こっち向いて。」「しっかり反応しよう。」「その一言の大切さ」)

生徒たちの発言や反応がとても活発な授業でした。自然に拍手が起こったり、「おお!」と感嘆の言葉が出たりして、後藤先生の普段からの温かな学級経営を感じました。「中学校教諭は絶対、人しかできない。だって、後藤先生がいなくなるなんて。」(皆の拍手)その場面が全てを物語っていると思いました。ちなみに、授業前にストレッチ、黙想がありました。

★後藤先生が大切にしていること★

- 学校だからできる学び、体験を大切にしたい。その中で自分を振り返り、将来を考えられる生徒を育てたい。担当教科の社会科でも、自分で調べ、考える力を育てている。(学習の振り返りで「自分らしさや個性を磨く。」「思いやる心を身につける。」等の生徒の言葉がありました。まさしく、後藤先生の思いが生徒たちに伝わった授業でした。)